

日本共産党3名は、中核市上位の予算いかし

物価高からあなたのくらしを支えます

●大分市に力を入れて欲しいこと

- 1位 物価高騰対策 49.6%
- 2位 国保税・介護保険料引き下げ 49.3%
- 3位 最低賃金引き上げ 34.6%
- 4位 高齢者・障害者福祉の充実 32.5%
- 5位 小学校給食の無料化 31.1%
- 6位 学費・奨学金返済の負担軽減 29.4%

2024年日本共産党市政アンケートより

子育て支援のゼロ

小学生も
給食費ゼロ

あと13億円 市予算の0.6%で可能

- 18歳まで国保均等割ゼロ あと6千万円
- 2歳までの保育料は第1子もゼロ あと7.5億円

高齢者に安心

国・県に支援を求めて
国保・介護保険負担軽減

- 100円ワンコインバスの復活 1.5億円
- 加齢性難聴高齢者へ補聴器購入補助

若者に希望を

国・県・市が中小企業を支援し

最低賃金
時給**1500円**以上

返済ゼロの
奨学金制度拡充



農林水産業を守る

食糧自給率の向上
価格保障
所得補償

- ばいじん対策など、CO2削減対策の強化、再エネ・省エネで気候危機打開
- ジェンダー平等、男女賃金格差の是正、ケア労働者の待遇改善

大軍拡

「反対」が最多に(党市政)
敷戸弾薬庫
長射程ミサイル保管
大型弾薬庫新設 **中止**

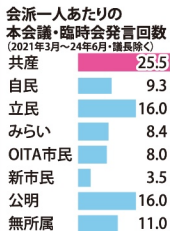
財源は **市予算 2118億円**
あります **財政調整基金 59億円**

- 企業立地促進助成金を、大企業中心(ソニーセミコンダクタ25億円、住友化学12.8億円、ジャパンセミコンダクター6億円、東芝マテリアル2億円など)でなく、地場の中小零細企業へ特化したものに。
- 3兆円こえる豊予海峡ルートは中止、議員報酬とは別に日当・費用弁償は廃止。



市議会の態度	共産	自民	立民	みらい	OITA市民	新市民	公明	無所属
市議会への賛成、反対、賛否分かれる								
介護保険料2度引き上げ 4年間で基準額・月5994円→6852円	×	○	○	○	○	○	○	○
国保税最高限度額引き上げ 4年間で99万円→106万円	×	○	○	○	○	○	○	○
長寿応援バス料金値上げ 150円→180円	×	○	○	○	○	○	○	○
公立幼稚園の廃園 4年間で21園→11園に	×	○	○	○	○	○	○	○
議員の2度ボーナスアップ 2年間で約13万円アップ	×	○	○	○	○	○	○	△
健康保険証の廃止方針撤回 請願(2023年12月)	○	×	○	○	×	×	×	△
物価高騰に見合う 年金額引き上げ請願(2023年12月)	○	×	×	×	×	×	×	×
インボイス制度の実施延期 請願(2023年9月)	○	×	○	×	△	×	×	△
消費税5%へ引き下げ 請願(2022年6月)	○	×	×	×	×	×	×	×

発言力いかし 市政うごかす 日本共産党



市民の運動と力をあわせる党

願い実現へあきらめない
子ども医療費が18歳まで助成に

40年来の運動と結んで、議会で繰り返し取り上げて、一歩ずつ拡充してきました。

- 3歳未満の一部負担が無料(2007年)
- 通院が就学前まで無料(2013年)
- 小中学生の入院医療費を無料(2017年)
- 小中学生の通院医療費を助成(2022年)
- 高校生の入院医療費無料、通院医療費助成(2024年)

3歳未満児の第2子以降の
認可外施設の保育料無料

4年前、市民から出された請願の紹介議員に。審議未了でボツになってもらえぬよう要求を続けました。

住民の苦難軽減の立場をしっかりとる党

負担増からくらし守る
物価対策など繰り返し要望



毎年、県・市へ予算要望。物価対策として、事業所の水道料免除や引き下げ、給食の食料費補助など実現。

中学生の給食費無料に

「義務教育は無償。小中学校9年間の給食費は無料に」と7年前に提案。繰り返し取り上げて、ついに実現。

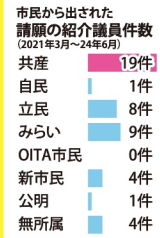
企業団体献金を受け取らない党

国・大企業にもものが言える
ばいじん公害対策とらせる

「洗濯物が干せない」「ぜんそくがひどくなった」——30数年来、住民とともに、国・県・新日鐵(現・日本製鉄)へ、ばいじん公害対策を要求。集じん機設置など、数多くの対策をとらせてきました。この4年間でも、公害防止協定が見直しされ、月6トンの排出基準が5.5トンへ引き下げに。

請願の紹介議員 件数トップ

インボイス中止、健康保険証廃止の延期、年金引き上げなど、請願の紹介議員となり、国のひびきと対決してきました。



議員報酬とは別に1日3千円の日当・費用弁償を拒否しているのは日本共産党だけ。他党派は約4年間で2193万円受け取っています。